

SADIOT ROOM

取り付けガイド

設置前に必ずお読みください

本書は、SADIOT ROOM 取り付け説明書です。
本書および SADIOT LOCK Plate(別売り)
取り付け説明書を参考に SADIOT ROOM 本体
を設置してください。 56-5891A

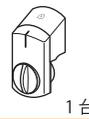
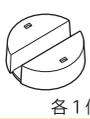
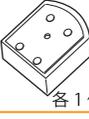
**取り付け後は必ず説明書類を
管理者様へ引き渡すようお願い
いたします。**

1. 設置する前に

本製品を設置する前にご確認ください。

梱包内容の確認

下記の内容をすべてご確認ください。

| SADIOT ROOM (本製品) | リチウム電池 CR123A | 両面テープ | サムターンホルダー S、M、L |
|--|---|--|--|
|  1台 |  2本 |  ロック用 2枚 マグネット用 1枚 |  各1個 |
|  1個 |  大・中・小 各1個 |  短いネジ(黒色) 長いネジ(銀色) 各4本 | |

ご準備いただくもの

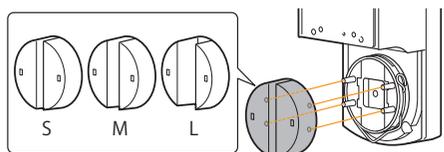
下記の内容をご準備ください。

- ・柔らかい布
- ・中性洗剤 または アルコール
- ・プラスドライバー

2. 本製品を設置する

サムターンホルダーを取り付ける

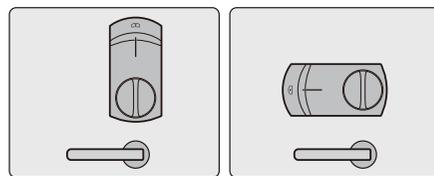
- サムターンホルダー (S、M、L) をドアのサムターン (内鍵) にあて、最も隙間が少ないサイズを選んでください。
- 選んだサムターンホルダーを本製品の裏面に取り付けてください。



ドアに仮取り付けする

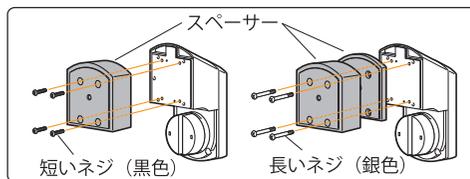
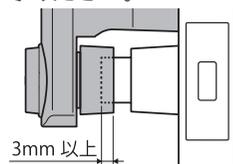
仮取り付け時は、両面テープを使用しないでください。

- 本製品を取り付ける向きを決めてください。電池交換のスペースが確保できるか確認ください。



以降の手順は、縦向きを例として説明します。

- ドアに本製品を取り付けたときに、サムターンホルダーが3mm以上重なっていることを確認ください。ドアと本製品との間に隙間ができる場合は、スペーサーで隙間を調整してください。



スペーサーは、中・小または大・小の2枚を組み合わせることもできます。1枚のときは短いネジ、2枚のときは長いネジをお使いください。

- 本製品のつまみを回して、ドアの施錠・解錠ができることを確認ください。

つまみを一定の角度以上回すと重くなります。重くなった時はゆっくり回してください。速く回すと故障の原因になります。

ドア表面を清掃する

- 本製品を取り付ける箇所のホコリやゴミなどを取り除いてください。
- 水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、油分や汚れを拭き取ってください。
- 布を水ですすぎ、同じ箇所を水拭きしてください。
- 拭いた箇所をよく乾かしてください。
特に両面テープで設置する場合は十分にドアの清掃を行ってください。ドアの清掃が不十分な場合、両面テープがはがれ、本製品が落下し、故障の原因となります。

本製品を取り付ける

SADIOT ROOM をドアへ取り付ける方法は以下の2つの方法があります。どちらかの方法をお選びいただきドアへ取り付けてください。

※どちらの方法で取り付けるか、あらかじめ管理者様にご確認ください。

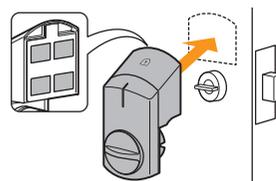
- 付属の両面テープを使用して製品をドアに取り付ける。
- SADIOT LOCK Plate (別売り) を使用し製品をドアに取り付ける。

※ SADIOT LOCK Plate を使用する場合は別紙 SADIOT LOCK Plate 取り付け説明書を参考に製品を取り付けてください。

SADIOT LOCK Plate を使用した場合でも押さえ金具の取り外し、確実に取り付けられていることを確認してください。

以下は両面テープでの取り付け方法を説明します。

- ドアのサムターンを横向き (施錠状態) にしてください。
- 本製品のつまみをサムターンの向きに合わせてください。
- 本製品に専用の両面テープ (1枚) を貼り付け、先ほど決めたドアの位置に本製品を取り付けてください。

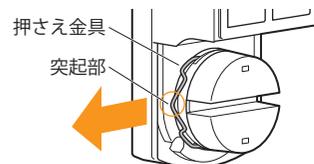


取り付ける際に、ドアのサムターンの回転の中心と、サムターンホルダーの回転の中心を合わせてください。

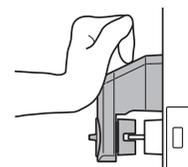
両面テープを貼り直す場合

・必ず新しい両面テープをお使いください。1度使用したテープははがれやすく、本製品が落下する原因となります。

- サムターンホルダーに取り付けられている押さえ金具を取り外してください。突起部が指でつかめない位置にある場合は、本製品のつまみを回して取り外せる位置に動かしてください。



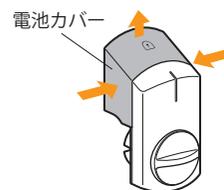
- 設置の際に本品を2分以上強く押し付けてください。ドアと両面テープの間の空気が抜けて粘着力が増します。



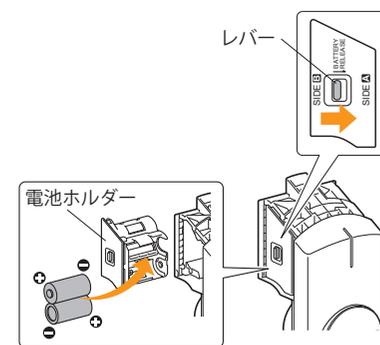
- 本製品のつまみを回して、ドアの施錠・解錠ができることを確認してください。

3. 電池を入れる

- 本製品の両側を押さえながら電池カバーを上方向にスライドして取り外してください。

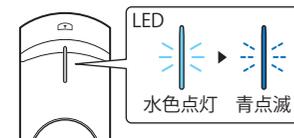


- レバーを矢印方向に動かして電池ホルダーを取り出し、SIDE「A」と書かれている側にCR123Aの電池を2本入れてください。



- ・電池は2本で動作しますが、4本使用することを推奨します。4本使用する場合は、SIDE「B」と書かれている側にも電池を2本入れてください。(電池本数は管理者様にご相談ください。)
- ・充電電池には対応していません。

電池を入れた電池ホルダーと電池カバーを元に戻すと、確認音と共にLEDが水色で点灯します。未登録時はその後青点滅となります。



LEDが点灯しない場合は、電池の入る場所と向きを確認してください。それでも点灯しない場合は新しい電池を入れ直してください。

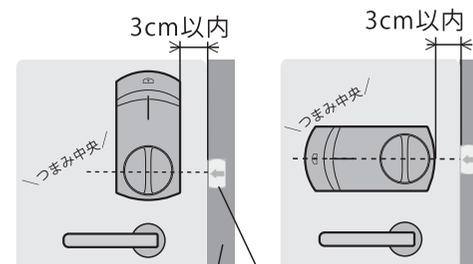
- 取り付けが完了しました。

4. ドア開閉検知用マグネット

ドア開閉検知をお使いの場合、同梱のマグネット設置が必要です。マグネットは下図の通り本製品のつまみの中央に合わせてドア枠に両面テープを使用して、設置してください。

※マグネットケースの矢印が本製品を向くようにマグネット配置をしてください。

※ドア開閉検知機能設定前に、押さえ金具を取り外してください。押さえ金具が付いたままの場合、オートロック機能が正しく動作しませんので、ご注意ください。



ドア枠 マグネット